

佐賀市上下水道ビジョン(案)に対し意見表明

～信頼と安心を与えられる下水道事業を目指すための施策に意見表明～

一般社団法人日本損害保険協会佐賀損保会(会長：岩田 高明 東京海上日動火災保険株式会社 佐賀支店長)では、2025年1月6日付で公表された佐賀市上下水道ビジョンの意見募集に対し、1月27日付で意見表明を行いました。

当該ビジョンは、佐賀市の施策を展開する際の基本方針を示した「第3次佐賀市総合計画」を上位計画としたものであり、「経営戦略」としても位置づけられており、刻々と変化する情勢を踏まえつつ、現状と課題を認識し、目指すべき将来像や重点的に行う施策を定めるため策定されるものです。

佐賀損保会では、雨水事業の普及状況や「暮らしを支える安全安心な上下水道」という基本理念および具体的施策の一つである排水対策の推進等に対して、次のとおり意見表明しております。

《主な意見内容》

P14～15 第3章 現状と課題 2. 普及状況 (3) 雨水事業

「佐賀平野は有明海の満潮時よりも低い土地が広がり、集中豪雨等の大雨時には市街地を中心に内水氾濫による浸水被害が発生しています。有明海の潮位の影響や複雑な用排水慣行がある平野部では、浸水被害の軽減は非常に難しいのが現状です。市街地の雨水幹線には、農業用水路としての側面を有しているところもあり、急激な都市化に整備が追いつかず、未整備の雨水幹線が残っています。」との現状・課題認識、および、人口減による厳しい財源試算等を見るに、「近年の気候変動に対応するため、流域治水の観点を加えたハード対策とソフト対策の両面から取り組むことが重要です。」とした浸水対策につき賛同します。

P48 第4章 目指す将来像 1. 将来像と基本方針

将来像および「安全な水の供給と適切な汚水・雨水の処理に努めます」等の基本方針に賛同します。

P57～58 第5章 上下水道ビジョン実現に向けた取組 1. 安全(方針) (2) 安全で快適な下水道 3) 排水対策の推進(具体的施策)

温暖化等による豪雨が頻発化・激甚化しています。その一方、当市における雨水の排出は、有明海の潮位や、複雑な用排水慣行など変動要因が多くあり、あらゆる豪雨に対して完全に備えることは非常に困難であることは理解しています。しかし、当市における洪水対策は喫緊の課題と考えているので、豪雨時の諸条件を、関係諸機関で円滑に連携・調整しつつ、より効果的に浸水被害の軽減を図るソフト施策の検討・調整を行いつつ、「佐賀市排水対策基本計画」に基づき「雨水管渠(住宅密集地の雨水幹線整備率41%)」、「雨水ポンプ施設(設置済4/計画7)」および、「雨水貯留施設(設置済3/計画4)」等のハードの整備も着実に進めていただきたい。